

2021年1月6日

上場会社名 興研株式会社
 代表者 代表取締役社長 村川 勉
 (コード番号 7963 JASDAQ)
 問合せ先 広報・IR室 菊池 一誠
 (TEL 03-5276-1932)

検体採取用陰圧ブース「LAMIKOACH Np」の発売

この度当社は、新型コロナウイルスのPCR検査等の検体採取時において、患者から飛散するマイクロ飛沫を外部に拡散させないための検体採取用陰圧ブース「LAMIKOACH Np (Negative pressure)」を発売いたしましたのでお知らせいたします。本製品は、東邦大学医学部微生物・感染症学講座様、同麻酔科学講座様及び東邦大学医療センター大森病院感染管理部様、同先端健康解析センター様との共同開発品です。(共同開発に関する詳細は、2020年11月24日リリースの「[マイクロ飛沫の拡散を防止し、医療従事者と患者双方に安心・安全な陰圧デバイスを東邦大学と共同開発](#)」をご参照ください。)

記

1. 開発の経緯

PCR検査等の検体採取時には、咳やくしゃみなどが発生しやすく、医療従事者は高い感染リスクを負っています。患者から飛散するマイクロ飛沫を外部に拡散させないために、医療現場では陰圧ブース等による対策が行われていますが、換気効率が悪い場合は、マイクロ飛沫が内部に残留したり、出入りの際に漏れ出したりすることによる周辺への感染リスクがあります。

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に伴う検査数急増への対応が求められる中、ブース内の空気をクリーン化して素早く換気でき、最小限の人数で効率的に検体採取が行える高性能フィルタを搭載した陰圧ブースを開発しました。



製品一式

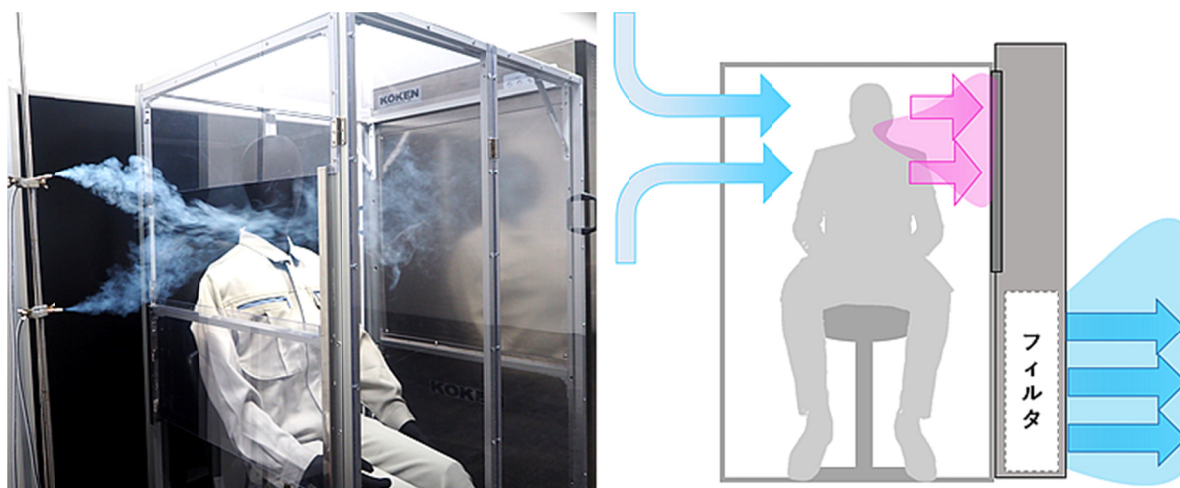


本製品を使用した検体採取作業イメージ

2. 製品の特長(独自メリット)

(1) プッシュプル気流の応用でマイクロ飛沫を素早く除去

プッシュプル型換気装置の気流技術を応用した気流によりブースに取り入れられた空気は患者の呼吸域に向かって流れ、吸い込み面へと搬送されます。この気流によって、患者の呼気に含まれるマイクロ飛沫がブース内に広がることなく素早く除去されるため、ブース内に長く残留したり、出入りする際に外に漏れ出たりするリスクを低減できます。



気流によってマイクロ飛沫が除去される様子 (イメージ)

(2) 0.15 μm の微粒子を 99.9999%捕集

「LAMIKOACH Np」は「KOACH」と同じく、当社独自の超高性能フィルタ「FERENA」と「ELE-PRE」を搭載することで、0.15 μm の粒子を 99.9999%捕集することができます。一般的な空調用 HEPA フィルタ(0.3 μm の粒子に対する捕集効率 99.97%)と比べ、圧倒的に高いろ過性能を有しています。

(3) 陰圧状態をランプで表示

ブース内を、米国疾病予防管理センター(CDC)の感染対策ガイドラインにおいて陰圧室で推奨される差圧 2.5 パスカル程度の陰圧にすることができます。本体部に陰圧状態表示ランプを搭載しており、誰でも一目で状態を確認できます。



陰圧状態表示ランプ

(4) 補助員なしでも素早く作業ができる

正面のスライド式開口部から、容易にブース内へアプローチできます。補助員がいなくても、一人でスムーズに作業を行えます。

ブース内は陰圧化されているため、マイクロ飛沫が外へ漏れ出るリスクを低減できます。



スライド式開口部からの検体採取作業イメージ

3. 発売日・価格

発売日:2020年12月25日、標準小売価格(税別):150万円

4. 主な仕様



検体採取用陰圧ブース「LAMIKOACH Np (Negative pressure)」仕様		
本体部	材質	主に SUS304
	寸法(転倒防止板除く)	W748 mm×D349 mm×H1611 mm
	吸込開口面寸法	W645 mm×H700 mm
	重量	約 68 kg
	フィルタろ過率	99.99999%(対象粒径0.15 μm 以上)
	電源	単相 100V 50Hz/60Hz
フード部	材質(支柱)	主にアルミ
	材質(壁)	硬質塩ビ
全体	重量	約 80 kg
	外形寸法 (展開時)	W773 mm×D1259 mm×H1611 mm
	外形寸法 (収納時)	W773 mm×D460 mm×H1611 mm

※本製品の外観及び仕様は改良等のため予告なく変更することがあります。

感染対策企業として

当社は、創業以来、産業用マスク分野を中心に事業を展開し、病院・工場・自衛隊など幅広い分野で働く皆様の安全を陰ながら支えて参りました。今後も、感染対策企業として、人命を守る使命を負っていることを常に念頭に置き、製品の研究・開発を進め、社会へ供給して参ります。

《本リリースに関する問い合わせ》

興研株式会社 〒102-8459 千代田区四番町7番地

URL: <https://www.koken-ltd.co.jp/>

・製品に関するお問い合わせは、

マーケティング本部 環境エンジニアリングディビジョン TEL 03-5276-1931(直通)

Email kankyo@koken-ltd.co.jp

・メディア関係の方は、

広報・IR室

TEL 03-5276-1932(直通)

Email ir@koken-ltd.co.jp